

平成29年度

入学試験問題

学校法人 明星学園

浦和学院専門学校

看護学科

国語

(一般入試 Ⅲ期)

[注意事項] (試験が始まる前に読んでおくこと。)

- 1 受験票は机上に表示された受験番号の横におくこと。
- 2 問題用紙は試験開始の合図があるまで開かないこと。
- 3 解答用紙に受験番号、氏名を正確に記入すること。
- 4 下敷の使用は禁止する。
- 5 試験終了時に解答用紙と問題用紙は別々に回収する。
- 6 試験終了後は試験監督の指示に従って行動すること。

※ なお、試験中に気分が悪くなった場合は試験監督に申し出ること。

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「文化的な生活」という謳い文句がある。日本国憲法第二五条にも、国民は「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」と書かれているはずだ。けれども、いざ「文化的」とはどういうものかとなると、ピンとくるものがない。(a)

①タンの高度情報技術は文化的なのだろうか。電話が普及し、ついでFAXが使えるようになり、そしてケータイが②流布するにいたって、私たちの生活はより「文化的」になったのだろうか？(b)

A そうといえるなら、技術の発展によって私たちの文化が進歩した、ということになる。(c) B 私は、決してそうは思わない。 C 反対に、文化という次元では現代日

本人は退歩しているとさえ考えている。それを、より文化的な生活になったと表現するのは、文化というものと科学技術を混同しているからだと思えてならない。科学技術というのは、文明と言い換えても差し支えないだろう。少なくとも今日では、文明の実体のかなりの部分をなっていることはまちがいない。(d)

どこが違うのか？ それには文化という概念の指し示す内実を、機能論的にとらえてみる
ことが有益だろう。

生物の世界で「文化」というと、すぐ引用されるのが宮崎県串間市の幸島というところに③生ソクするニホンザルの行動である。人間からエサとして与えられたサツマイモを、浜辺で海水に浸して食べる、というのである。

あるとき、一頭のメスのコドモが、塩味をそえることを学習した。たまたま海辺で、手にしていたイモを海中に落としたのだろう。拾って口に入れると意外によい味がした。それ以来、あえて湿らせることにした。

すると同様の行動が集団の他のサルにも伝播していった、という。そして、世代を超えて継承されていく。むしろ、他の地域のニホンザルは決してそんなことはしない。だから、幸島のサルには文化があるみたいへん話題となった。高校の生物の教科書にすら紹介されている。

a 私は、これをただちに人間の文化と対等とみなすつもりはない。ただ、萌芽的な側面を有していることはやはり事実だろう。それは何かというと、個々のサルが生後に環境の中で学習した行動が、集団単位で時間を超えて維持されているという点である。文化とは、外縁の明確な集まりの中で、メンバーによって齊一的に共有されていなくてはならない。そして世代から世代へ伝えられていく。(e)

b ただし、イモ洗いは所詮イモ洗いである。幸島の発見以降も、④類ジの報告は霊長類では少なくない。チンパンジーでは、ある地域でのみ、石を用いて木の実を割る行動が見られるという。

しかし人間の文化と一線を画するのは、サルの場合、たかだか個々の生物の嗜好にとどまっ

ているという事実だろう。なるほど、幸島のサルはみんなイモ洗いをするから、他の集団と違って塩味のおいしいものが食べられる。石で堅い木の実を割れるチンパンジーは、他の集団が味わえない食物をエンジョイできよう。cけれども、地域独自のノウハウを編み出しはしても、恩恵を被るのは個々にそれを行うサルである。

他方、人間の文化は、個々人が文化的な要素をはらんだ同一の行動を実行するとき、そこで連帯の意識を持つ点でサルと異なるのだ。ニホンザルは、自分がイモ洗いをしつつ、仲間が同じことを行っているのを目にしても、親近感を抱かないだろう。ところが人間ならば、無自覚のうちに相手に **1** を抱くに違いないのだ。

反対に自分がしないことをするのを目撃すると、敵対意識を持つかもしれない。 **D**、食事に際し日本人は箸はしを用いる。それが、インドやインドネシアからやって来た人を食事に招き、突然手で食べだすのを目にしたら、嫌悪感を持つのではないだろうか。しかもたとえ、向こうではそういう習慣なのだと教わっても、その思いを打ち消すのは、なかなかたいへんである。

人間の食物の味わい方は多様である。舌で賞味するのに加え、日本人は見た目を大切にす。かたやインドやインドネシアの人は、口に入れる前に指で触感を楽しむようだ。dその変異は、明らかに幸島のサルのイモ洗いの延長線上にあるとらえられるだろう。ただし人間では、さらに踏み込んで同じ行為をすることで仲間意識を育み、違う行為をする者による者意識を向けるように進化してきたのである。

(「かんが考えないヒト」正高信男より)

問一 点線部①～④のカタカナを漢字に直したときと同じ漢字を用いるものをあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

① タンの「解答番号は1」

- a 私のタン生日は十月だ。
- b 着物を仕立てるためにタン物を買った。
- c 人のタン所ばかりが目につく。
- d 時にはタン純に考えてみると良い。
- e 足の末タンまで冷えてしまった。

② 流フ「解答番号は2」

- a 将来へのフ石となるだろう。
- b フ担になることは避けたい。
- c フ面の通りに弾いてください。
- d フ平等はあつてはならない。
- e フ属の調味料を混ぜる。

③ 生ソク「解答番号は3」

- a 長い間の利ソクが多かついた。
- b ソク日仕上がりが店の売りだ。
- c ソク度を上げすぎないように注意してほしい。
- d 新商品の販ソク物を用意した。
- e 体力ソク定を行った。

④ 類ジ「解答番号は4」

- a 話し合いをするジ間がない。
- b 彼女は三人姉妹のジ女だ。
- c 二つは相ジ形である。
- d 女ジが一人発見された。
- e ジ悲の心を持つて接する。

問二 空欄A～Dを埋めるのに最も適当な語を次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

同じ記号は一度しか使えません。「Aの解答番号は5、Bの解答番号は6、Cの解答番号は7、Dの解答番号は8」

- a 例えば b しかし c むしろ d とはいえ e もし

問三 本文のある箇所からは次の一文が抜けています。元に戻す場合に最も適当な箇所を
(a)～(e)の番号で答えなさい。【解答番号は9】

〈けれど文明と文化は、必ずしも同じではない。〉

問四 空欄1にあてはまる語として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

【解答番号は10】

- a 存在感
b 優越感
c 劣等感
d 嫌悪感
e 共感

問五 傍線部 a 「私は、これをただちに人間の文化と対等とみなすつもりはない」とありますが、「人間の文化」の特徴として当てはまるものを次のなかから選び、記号で答えなさい。【解答番号は11】

- a 人間の文化は技術の発展によって発展し、いまやなくてはならないものである。
b 人間の文化とは、文明の実体のかなりの部分になっており、文明と表裏一体のものである。
c 人間の文化は外縁の明確な集まりの中で、メンバーによって齊一的に共有され、世代から世代へ伝えられていくものではない。
d 人間の文化はグループごとに地域独自のノウハウを編み出し個々に恩恵を被ることで発展してきた。
e 人間の文化は個々人が文化的な要素をはらんだ同一の行動を実行するとき、連帯の意識を持つものである。

問六 傍線部 b 「ただし、イモ洗いは所詮イモ洗いである」とあるが、なぜ「所詮」なのか。その理由を示すものを次の中から一つ選んで答えなさい。【解答番号は12】

- a イモ洗いは塩味をつける以上の高度なことに発展することはないので、文化的な行為とは到底言い切れないから。
- b 同様の行動が集団の他のサルにも伝播し、世代を超えて継承されていくことで、新しさが失われ、同じことの繰り返しになってしまっているから。
- c イモ洗いは偶然の結果生み出されたものであり、文化的な行為であるとは到底見なせないから。
- d サルの頭脳は人間にはまだ及ばない点があり、文化的な行動とは無縁だから。
- e 地域独自のノウハウを編み出しているが、個々の生物の嗜好の段階でとどまっており、連帯の意識を持つまでに進化していないから。

問七 傍線部 c 「けれども、地域独自のノウハウを編み出しはしても、恩恵を被るのは個々にそれを行うサルである。」とありますが、この文の説明として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。【解答番号は13】

- a 浜辺でイモを海水に浸して食べるサルたちは他の集団が味わえない食物を味わうことができるが、嗜好の差からそれを真似しないサルもいるのだということ。
- b 仲間意識やよそ者意識がないため、他の集団の行為に意識が向かず、イモ洗いなどの行為はあくまでその集団内でのみ維持されていくものであるということ。
- c イモを海水で洗うという行為は、サルによって能力に差が生じることであるため、ある種特権的な行為であるということ。
- d 石で堅い木の実を割れるチンパンジーは、他の集団が味わえない食物をエンジョイしており、仲間意識で結ばれたサルしかその方法を知り得ないのだということ。
- e 地域独自のやり方を生み出すことはできるが、敵対意識が強く知識の交換がなされることがないため、互いにいつまでも同じ行為を繰り返すしかないのだということ。

問八 傍線部 d 「その変異は、明らかに幸島のサルのイモ洗いの延長線上にあるととらえられるだろう」とありますが、「その変異」とは何か。その内容を説明するものとして当てはまるものを次の中から選び、記号で答えなさい。【解答番号は14】

- a サルから人間に進化するまでの段階のこと。
- b 食事に関する習慣や食物の味わい方などの、国による違い。
- c 接する人物によって親近感を抱いたり敵対意識を抱いたりすること。
- d 人間の食物の味わい方がサルより優れているということ。

e 習慣の違う国に対する嫌悪感と、一方でそれを理解しようとする気持ち。

問九 本文の内容と合致するものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。【解答番号は1

5】

- a 人間はそれぞれが文化的な要素を持つ同一の行動を実行する際、互いに連帯感を抱いたり、異なる行動を実行するのを見れば敵対意識を持つたりするものである。
- b サルが海水でイモを洗う行為は、人間のすべての文化的行動の根源に迫るものであり、文化的行為を知るための鍵となり得る。
- c サルが生み出した地域独自のノウハウは人間の文化と同様のものであり、延長線上にある。
- d 人間の食物の味わい方は多様であり、日本人が舌で賞味し、見た目を大切にすることは、人類の中でも特に文化的な行為であるといえる。
- e 文化とは、いくつものコミュニティの間で共有され、継承され続けるものであり、文明以上に重要視しなければならないものである。

二 次の①～⑩の熟語の構成をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① 愚問【解答番号は16】 ② 慶弔【解答番号は17】
- ③ 上棟【解答番号は18】 ④ 執務【解答番号は19】
- ⑤ 凸面【解答番号は20】 ⑥ 殉教【解答番号は21】
- ⑦ 災禍【解答番号は22】 ⑧ 不慮【解答番号は23】
- ⑨ 添削【解答番号は24】 ⑩ 首尾【解答番号は25】
- a 同じような意味の漢字を重ねたもの。
- b 反対の意味の漢字を重ねたもの。
- c 上の字が下の字を修飾しているもの。
- d 下の字が上の字の目的語・補語となっているもの。
- e 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの。

三 次の熟語の対義語をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① 創刊【解答番号は26】 ② 具体【解答番号は27】
- ③ 新奇【解答番号は28】 ④ 栽培【解答番号は29】
- ⑤ 独唱【解答番号は30】
- a 斉唱 b 抽象 c 陳腐 d 廃刊 e 自生

四 次の熟語の類義語をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① 介入【解答番号は31】 ② 勘弁【解答番号は32】
- ③ 不滅【解答番号は33】 ④ 抜粋【解答番号は34】
- ⑤ 激励【解答番号は35】

- a 不朽 b 関与 c 抄録 d 堪忍 e 鼓舞

五 空欄に入る適語を次の語群から選び、それぞれ記号で答えなさい。

① 切歯扼 [解答番号は36] ② 千載一 [解答番号は37]

③ 電光 火 [解答番号は38] ④ 臨 応変 [解答番号は39]

⑤ 頭狗肉 [解答番号40]

- | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ⑤ | a | 羊 | b | 馬 | c | 牛 | d | 豚 | e | 鶏 |
| ④ | a | 機 | b | 期 | c | 紀 | d | 軌 | e | 起 |
| ③ | a | 斬 | b | 切 | c | 石 | d | 花 | e | 速 |
| ② | a | 寓 | b | 遇 | c | 偶 | d | 隅 | e | 禺 |
| ① | a | 齒 | b | 舌 | c | 足 | d | 口 | e | 腕 |

六 空欄に入る適語を次の語群から選び、それぞれ記号で答えなさい。

① に衣着せぬ [解答番号は41]

② 弘法にも の誤り [解答番号は42]

③ 人を呪わば穴 つ [解答番号は43]

④ 窮鼠 をかむ [解答番号は44]

⑤ 船頭多くして 山に上る [解答番号は45]

- | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ⑤ | a | 船 | b | 車 | c | 人 | d | 馬 | e | 犬 |
| ④ | a | 竜 | b | 馬 | c | 牛 | d | 犬 | e | 猫 |
| ③ | a | 一 | b | 二 | c | 三 | d | 四 | e | 五 |
| ② | a | 筆 | b | 字 | c | 絵 | d | 腕 | e | 道 |
| ① | a | 肩 | b | 齒 | c | 子 | d | 孫 | e | 親 |

七 次の①～⑤の傍線部の活用の種類として最も適当なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。ただし、同じ記号を何度用いても構いません。

① それではプリントを集めます。 [解答番号は46]

② 彼は朝、なかなか起きない。 [解答番号は47]

③ 遊びに来る|ときは連絡してください。【解答番号は48】

④ 彼女だった|らそのようなことは|しないはずだ。【解答番号は49】

⑤ もっと早く|すれば間に合った|かもしれない。【解答番号は50】

a 未然形

b 連用形

c 終止形

d 連体形

e 仮定形